

第1部

小惑星探査機「はやぶさ」 を支えた電気電子技術

60億kmの長旅を経て奇跡的な帰還を遂げた、小惑星探査機「はやぶさ」。日本の宇宙航空技術が高い水準にあることを世の中に知らしめた。しかし同時に、電気電子の技術がなければこの帰還は果たせなかったことも事実である。電気電子技術が「はやぶさ」をどのように支えたのか、独立行政法人宇宙航空研究開発機構の橋本樹明教授にお話を伺う。

講演：橋本 樹明 ((独)宇宙航空研究開発機構)

時間：14:30～15:00



第2部

パネル討論「国際人ってなんだろう」 時間：15:00～17:00

何もかもが国境を越えて流動する現代社会。世界を向こうに回して勝負する能力が求められる。ではその能力とは具体的にどんなことだろうか。そして大学教育はその能力をどう涵養していけばよいのだろうか。「世界に通ずる技術者・研究者の姿」「大学が果たすべき役割」「グローバル企業が求める人材」などの切り口で熱く議論する。



鈴木 學(株式会社日立製作所)
「英国鉄道車両市場への挑戦と大学教育に望むこと」



保立 和夫(東京大学)
「バイリンガルキャンパスの構築に向けて
—東京大学工学部工学系研究科の取り組み—」



曾根 公毅(日産自動車株式会社)
「グローバル企業が求める人材像
(日産自動車ケーススタディー)」



庭野 征夫(株式会社東芝)
「原子力事業のグローバル競争と人材」

世界に通ずる人材を
大学はどう育てるか

総会

時間：17:15～18:00

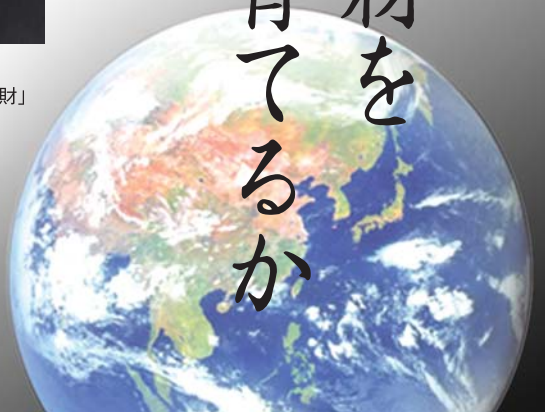
場所：工学部2号館4階 241講義室

懇親会

時間：18:00～19:30 会費：5,000円、2006(平成18)年3月以降に
学部卒業の方は2,000円。同伴家族は無料

場所：工学部2号館3階 電気系会議室1

*会員サイトまたは同封の用紙にて出欠をお知らせ下さい。



東京大学電気系同窓会 2010年度イベント・総会・懇親会のご案内

イベントスケジュール

2010年11月13日(土) 東京大学本郷キャンパス工学部2号館4階 241講義室

第1部 講演

14:30-15:00 「小惑星探査機「はやぶさ」を支えた電気電子技術」 橋本 樹明 氏 ((独)宇宙航空研究開発機構)

第2部 パネル討論

15:00-17:00 「国際人ってなんだろうー世界に通ずる人材を大学はどう育てるかー」

英国鉄道車両市場への挑戦と大学教育に望むこと 鈴木 學 氏 (株式会社日立製作所)

原子力事業のグローバル競争と人材 庭野 征夫 氏 (株式会社東芝)

グローバル企業が求める人材像 (日産自動車ケーススタディー) 曾根 公毅 氏 (日産自動車株式会社)

バイリンガルキャンパスの構築に向けて 保立 和夫 氏 (東京大学)

ー東京大学工学部・工学系研究科の取り組みー

全体ディスカッション(40分)

パネラー：上記講師4名+若手研究者・学生4名
総合司会 中野 義昭
(東京大学 先端科学技術研究センター教授)

休憩 (17:00-17:15)

17:15-18:00 同窓会 総会 工学部2号館4階 241講義室

2009年度事業報告・決算承認の件
2010年度事業計画・予算・役員承認の件
同窓会活性化ワーキンググループからの報告
会則変更ほか

18:00-19:30 懇親会 工学部2号館3階 電気系会議室1

講師略歴

橋本 樹明 (はしもと たつあき) 氏

独立行政法人 宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 教授

1990年3月東京大学大学院工学系研究科電気工学専攻博士課程修了。1990年4月より文部省宇宙科学研究所に勤務。2007年4月より東京大学大学院電子工学専攻(現:電気系工学専攻)教授を併任。専門は宇宙機制御工学。特に画像を用いた探査機の航法誘導に興味がある。宇宙科学研究所では、多くの科学衛星プロジェクトに参画し、姿勢制御系を担当。小惑星探査機「はやぶさ」においても姿勢軌道制御系の開発・運用を担当した。「『はやぶさ』のイトカワへの降下と着陸及び科学観測に関する研究」で、平成19年度科学技術分野の文部科学大臣表彰を受賞。

鈴木 學 (すずき がく) 氏

株式会社日立製作所 執行役常務 社会・産業インフラシステム社社長 兼 IEP推進本部長

1972年東京大学経済学部経済学科卒業。同年株式会社日立製作所入社。1992年2月同社営業本部交通部長。1997年同社営業企画本部企画部長。2000年同社電力・電機グループ電機システム統括営業本部交通営業本部長。2003年同社電機グループ交通システム事業部長。2005年同社執行役常務電機グループ長&CEO兼交通システム事業部長。2009年より現職。

庭野 征夫 (にわの まさお) 氏

株式会社東芝 常任顧問

1968年東京大学工学部機械工学科卒業、1970年同修士課程修了。同年東京芝浦電気(株)(現(株)東芝)入社。沸騰水型原子力発電プラント(BWR)のシステム設計業務に従事。1996年に営業運転を開始した世界初の改良型BWR(ABWR)東京電力柏崎刈羽原子力発電所6号機及び7号機の建設プロジェクト責任者。2000年1月より原子力事業部長、2003年4月東芝常務・電力社会システム社社長、2005年6月執行役専務、2006年6月代表執行役副社長、2008年より常任顧問。2006年10月から2008年6月まで米国Toshiba Nuclear Energy Holdings Inc.会長兼社長。2008年7月から2010年6月までWestinghouse Electric Company LLC取締役。現行の原子力政策大綱の検討委員会委員。米国原子力学会会員。

曾根 公毅 (そね こうき) 氏

日産自動車株式会社 OEM事業本部 ライセンシングビジネス・グループ部長

1975年早稲田大学理工学部応用物理学専攻卒業、日産自動車株式会社入社。中央研究所排気研究部にてエンジン制御研究。1983年から87年まで米国Nissan Research & Development社にて認可取得・産学連携に従事。1987年総合研究所動力機構研究所、1988年技術企画室。1989年より92年までベルギーNissan Technology Centre Europeで産学連携に携わる。1993年技術開発企画室にて先進技術開発企画。1997年から2000年までベルギーNissan Technology Centre Europe社長。2000年リソースマネジメント部、韓国・中国拠点の資源配分。2002年広報部長、2006年IPプロモーション部長。2010年より現職。2007年には米国スタンフォード大学で「日産のものづくり」講演、2008年早稲田大学社会連携研究所客員研究員。2008年北京大知財セミナーにて講演。

保立 和夫 (ほたて かずお) 氏

東京大学大学院工学系研究科 電気系工学専攻教授

1979年東京大学大学院工学系研究科電子工学専攻博士課程修了、工学博士。同年東京大学宇宙航空研究所専任講師。1987年東京大学先端科学技術研究センター助教授、1993年同教授。1997年東京大学大学院工学系研究科電子工学専攻教授、1999年大学院新領域創成科学研究科基盤情報学専攻教授。2001年大学院工学系研究科に戻り、2008年より電気系工学専攻教授、現在に至る。フォトニックセンシング、光情報処理の研究に従事。光ファイバジャイロ、分布型・多点型光ファイバセンシング、痛みの分かる材料・構造の為の光ファイバ神経網技術、など。21世紀COE拠点リーダー(2002~2006年度)、グローバルCOE拠点リーダー(2007年度~)。東京大学大学院工学系研究科長/工学部長(2008-09年度)、工学系研究科副研究科長(2006-07年度)、東京大学教育研究評議員(2007年度)。計測自動制御学会フェロー(2000年)、IEEEフェロー(2003年)、電子情報通信学会フェロー(2004年)、応用物理学会フェロー(2008年)。